

2026年3月期  
**決算説明資料**

2026年6月1日

**小池酸素工業株式会社**

証券コード 6137



# 目次

- **2026年3月期 決算の概要** **P2**
- **2027年3月期 業績予想** **P18**
- **中期経営計画 NEXT STAGE 2026 進捗状況** **P21**
- **APPENDIX** **P26**

# 2026年3月期 決算の概要

---

# 2026年3月期 連結決算サマリー

- 2026年3月期は下半期に挽回し、若干増収となったものの、上半期に新製品の開発を加速したことにより開発費が当初計画を上回ったこと、昨年4月より稼働のERPシステム（企業資源統合管理システム）の導入に伴う費用が想定より膨らんだことにより減益。

(百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	売上比	2026年 3月期	売上比	伸び率 (前年比)
連結売上高	47,871	51,387	55,206	100%	<b>55,570</b>	100%	+0.7%
売上総利益	14,020	15,638	17,867	32.4%	<b>17,595</b>	31.7%	△1.5%
販売費及び 一般管理費	10,728	11,323	12,419	22.5%	<b>12,753</b>	22.9%	+2.7%
営業利益	3,292	4,314	5,448	9.9%	<b>4,842</b>	8.7%	△11.1%
経常利益	3,786	5,149	6,046	11.0%	<b>5,357</b>	9.6%	△11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,065	3,056	3,633	6.6%	<b>3,461</b>	6.2%	△4.7%

# セグメント別決算概要

- 機械装置セグメントは前年度のサウジアラビア造船所向けの大型案件が無くなったことが影響し若干の減収減益となるも、引き続き高い水準で全体の業績をけん引。
- 高圧ガスセグメント、溶接機材セグメントは、前年比で減収減益であったが、ヘリウム液化機の販売が好調に推移したその他セグメントの業績が大幅に伸長。

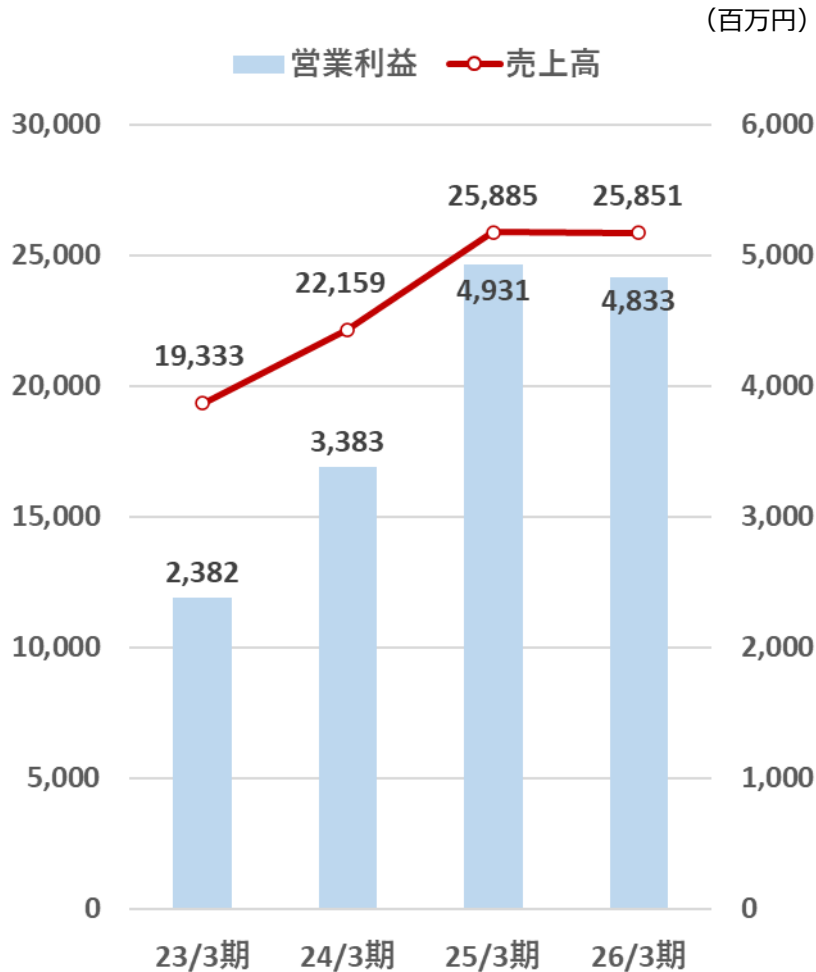
(百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		前年比	
	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1
機械装置	19,333	2,382	22,159	3,383	25,885	4,931	<b>25,851</b>	<b>4,833</b>	△34	△98
高圧ガス	19,264	1,454	20,103	1,455	20,400	1,372	<b>19,772</b>	<b>1,309</b>	△628	△63
溶接機材	8,588	574	8,343	604	8,164	583	<b>8,093</b>	<b>315</b>	△71	△268
その他	684	184	780	231	756	192	<b>1,853</b>	<b>291</b>	+1,097	+99
単純合計	47,871	4,596	51,387	5,674	55,206	7,079	<b>55,570</b>	<b>6,749</b>	+364	△330
調整額※2	—	△1,303	—	△1,359	—	△1,631	—	<b>△1,907</b>	—	△276
連結	47,871	3,292	51,387	4,314	55,206	5,448	<b>55,570</b>	<b>4,842</b>	+364	△606

※1 営業利益：各セグメントの数値は調整前ベース

※2 調整額：報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）等

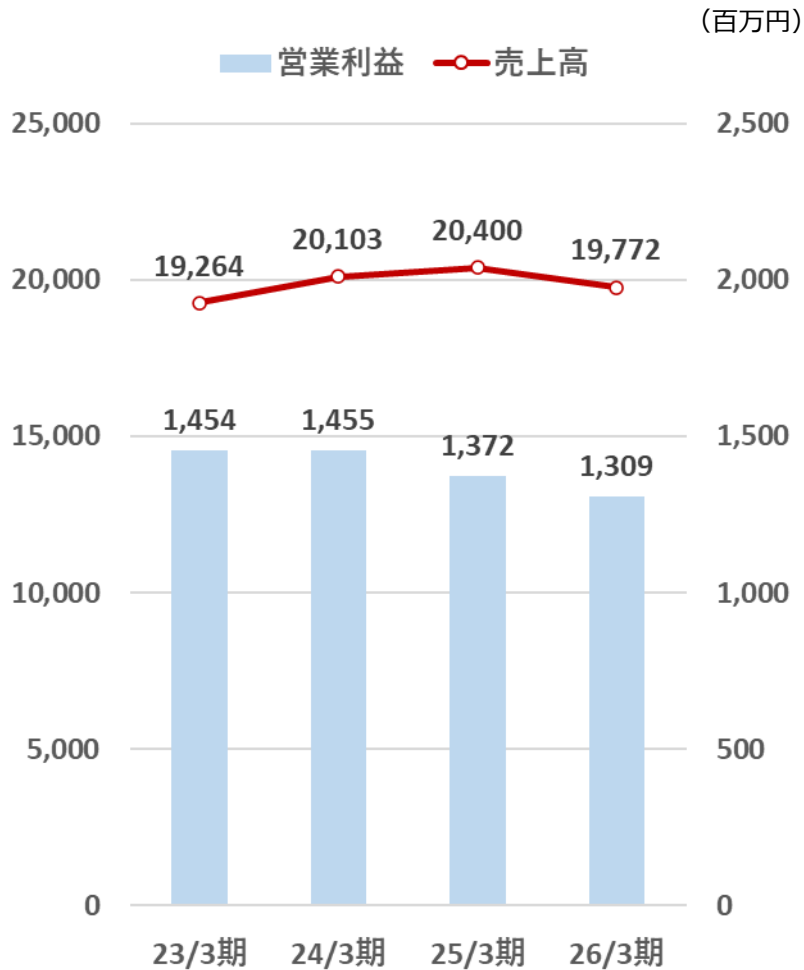
# セグメント別決算概況：機械装置セグメント



- 機械装置セグメントは、前年同期比で若干の減収減益。
- 国内市場では、引き続きDBCファイバーレーザー切断機が好調に推移。また、造船業向け（主にプラズマ切断機）も活発な状況。
- DBCファイバーレーザー切断機は18kWから40kWへ高出力化するとともに、従来の垂直切断から斜めに切断する開先切断まで適用範囲を拡大した。9月と1月に開催した「KOIKEプライベートフェア」等を通して、新たな需要の掘り起こしに注力。
- 海外市場では、前年度のサウジアラビア造船所向けの大型案件が無くなるも、韓国・中国にて造船業界の設備投資が回復傾向。

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

# セグメント別決算概況：高圧ガスセグメント

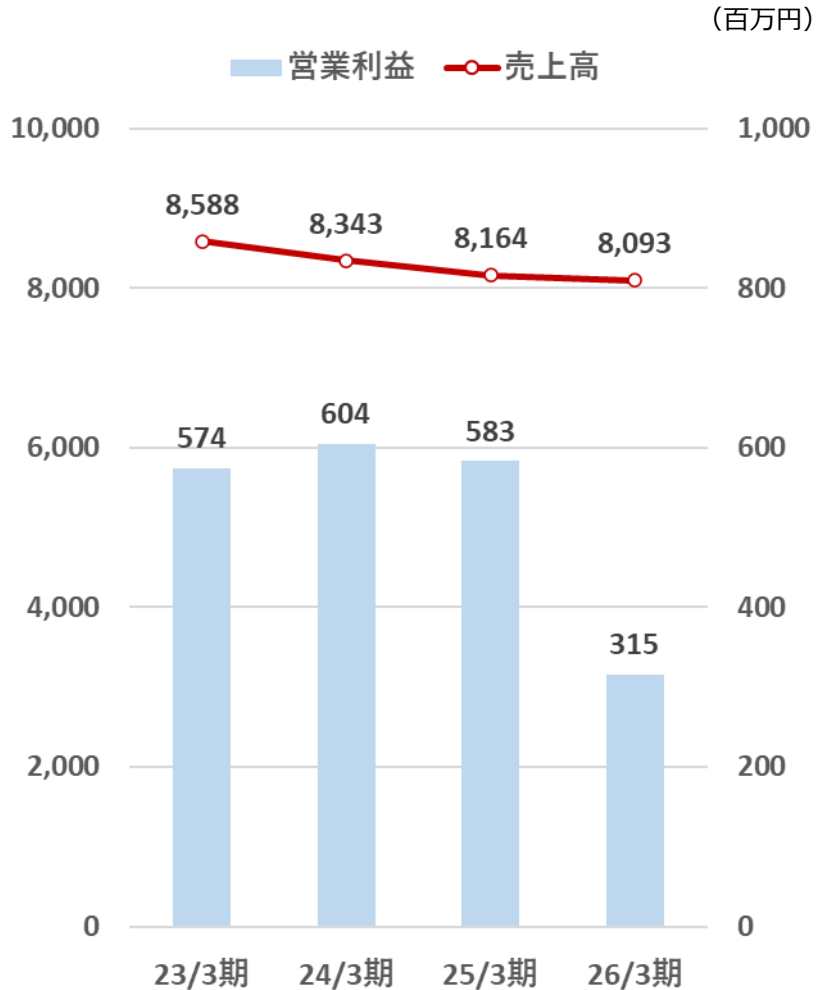


- 高圧ガスセグメントは、前年同期比で減収減益。
- 産業ガス分野では、原材料や物流コストの高騰等に伴う価格改定や新規拡販活動に注力したものの、市場環境が停滞。
- 医療分野では、仕入価格の上昇等に伴う価格改定、CPAP※レンタルや高気圧酸素治療装置の営業活動を強化するも、前年度寄与した新設病院の大型案件が無くなったことや、レンタル機器新規投入による原価増等が影響。

※CPAP：睡眠時無呼吸症候群患者の呼吸をサポートする器具

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

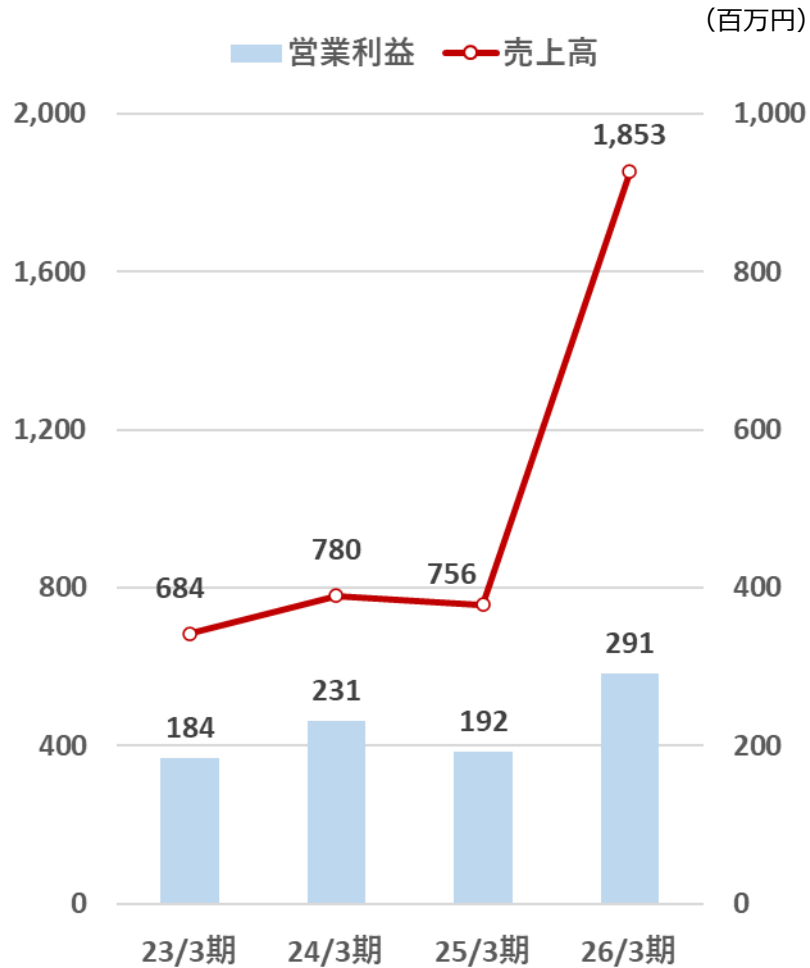
# セグメント別決算概況：溶接機材セグメント



- 溶接機材セグメントは、前年同期比で減収減益。
- 労働環境改善や省力化、効率化の提案を行い付加価値の高い営業活動を進めたが、鉄骨・建築・建機等の主需要先の需要減少を背景にアーク溶接機や溶接材料の出荷が低迷。また、コスト上昇も影響。

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

# セグメント別決算概況：その他セグメント



- その他セグメントは、前年同期比で大幅に増収増益。
- 海外向けの排ガス処理装置の受注が減少するも、ヘリウム液化機の販売が好調に推移したことが要因。

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

# 地域別売上高

- 海外売上高は北米とアジア（主に韓国・中国）を中心に全体の約24%。
- 前年同期比ではアジア向けの減少幅が大きいですが、サウジアラビア造船所向け大型案件が無くなったことが要因。

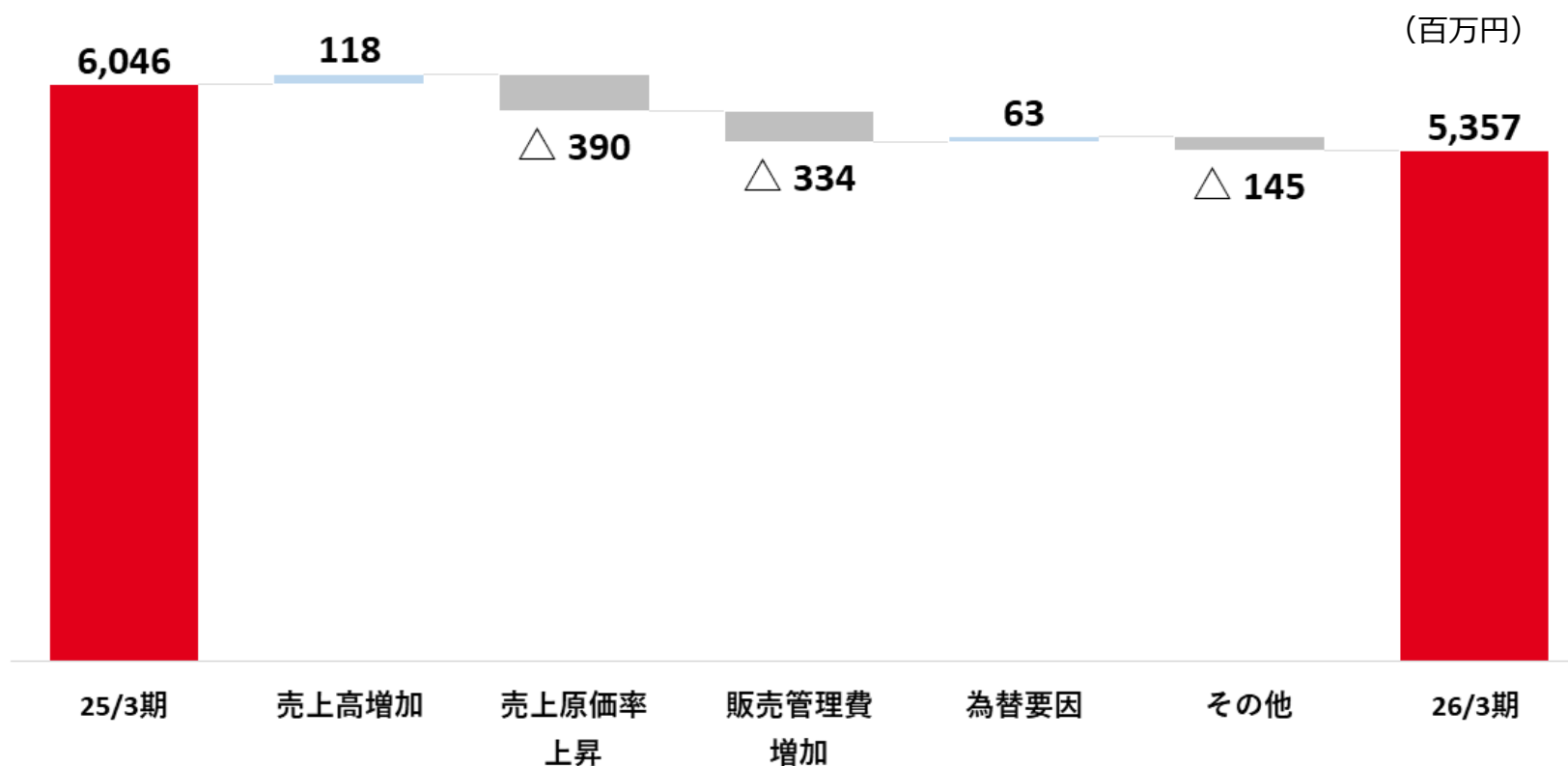
(百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	構成比	2026年 3月期	構成比	伸び率 (前年比)
日本	37,588	39,226	40,401	73.2%	<b>42,380</b>	76.3%	+4.9%
北米及び 中南米※	4,988	-	-	-	-	-	-
米国※	-	5,580	6,153	11.1%	<b>7,172</b>	12.9%	+16.6%
アジア	4,204	4,896	6,681	12.1%	<b>4,575</b>	8.2%	△31.5%
欧州	1,065	1,051	1,097	2.0%	<b>1,082</b>	1.9%	△1.4%
その他の地域	24	632	872	1.6%	<b>359</b>	0.6%	△58.8%
合計	47,871	51,387	55,206	100%	<b>55,570</b>	100%	+0.7%

※2024年3月期より、従来、北米及び中南米に含んでいた米国を分離し、米国以外の国々をその地域に含んで記載しております。

# 経常利益増減要因

- 経常利益は減少。
- 新製品の開発を加速し、開発費が当初計画を上回ったことによる売上原価増や、昨年4月より稼働のERPシステム（企業資源統合管理システム）の導入に伴う販売管理費の増加等が要因。



# 連結貸借対照表

- 資産の部 : 現預金△263百万円、有形固定資産+1,097百万円、投資有価証券+2,671百万円
- 負債の部 : 仕入債務△383百万円、前受金△378百万円、繰延税金負債+1,127百万円
- 純資産の部 : 利益剰余金+2,370百万円、その他有価証券差額金+1,735百万円

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前年比
<b>資産の部</b>					
流動資産	37,563	41,247	41,686	<b>41,614</b>	△72
固定資産	27,371	32,228	33,048	<b>37,497</b>	+4,449
<b>資産合計</b>	<b>64,934</b>	<b>73,476</b>	<b>74,735</b>	<b>79,112</b>	<b>+4,377</b>
<b>負債の部</b>					
流動負債	23,274	24,241	22,565	<b>21,285</b>	△1,280
固定負債	5,580	6,850	6,597	<b>7,747</b>	+1,150
<b>負債合計</b>	<b>28,855</b>	<b>31,092</b>	<b>29,163</b>	<b>29,032</b>	△131
<b>純資産の部</b>					
株主資本	27,931	30,487	33,396	<b>35,803</b>	+2,407
その他包括利益累計額	5,281	8,858	9,160	<b>11,134</b>	+1,974
非支配株主持分	2,866	3,037	3,014	<b>3,141</b>	+127
<b>純資産合計</b>	<b>36,079</b>	<b>42,384</b>	<b>45,571</b>	<b>50,079</b>	<b>+4,508</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>64,934</b>	<b>73,476</b>	<b>74,735</b>	<b>79,112</b>	<b>+4,377</b>
<b>(自己資本比率)</b>	<b>(51.1%)</b>	<b>(53.5%)</b>	<b>(56.9%)</b>	<b>(59.3%)</b>	<b>(+2.4%)</b>

# キャッシュ・フロー計算書

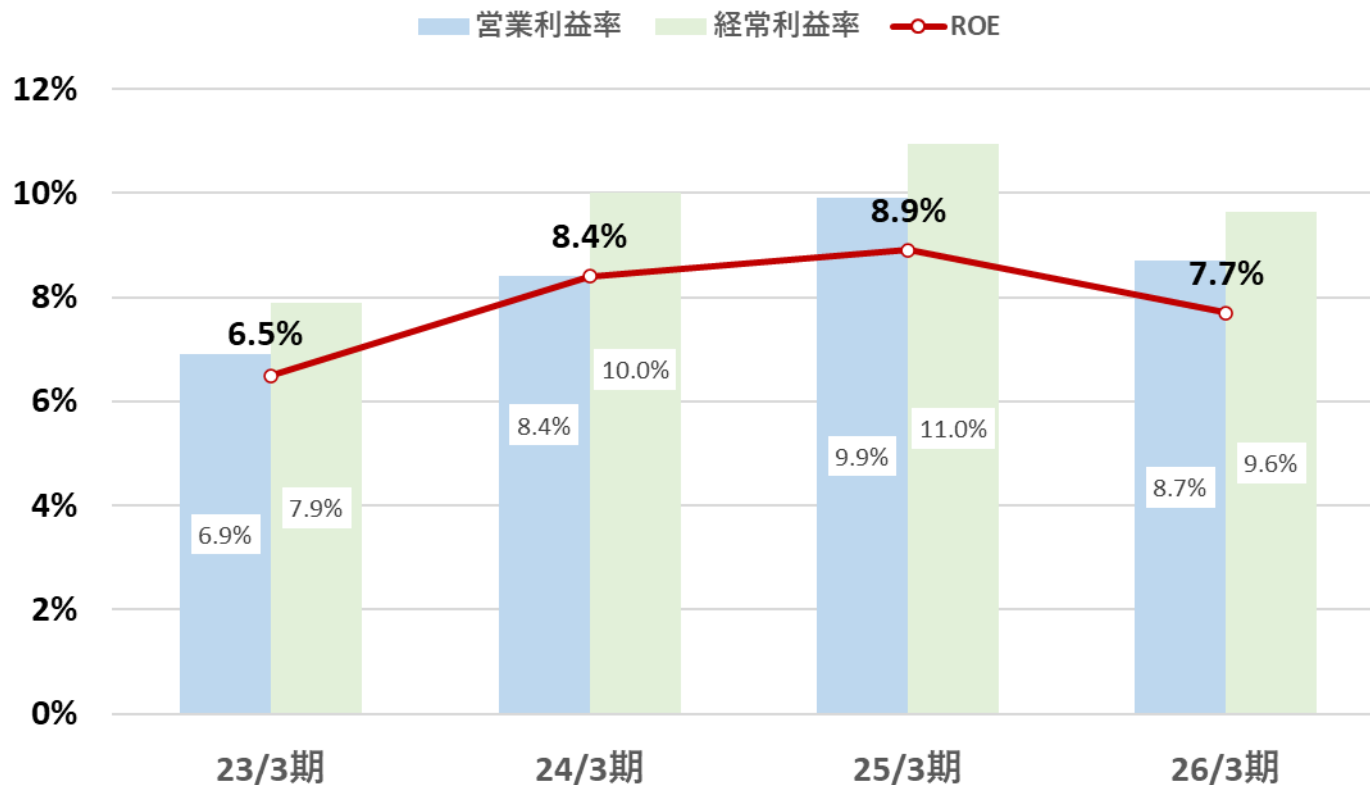
- 営業CF：減価償却費1,990百万円、売上債権増加1,225百万円
- 投資CF：有形固定資産取得による支出2,167百万円
- 財務CF：長期借入金・ファイナンスリース債務返済1,119百万円、配当金支払1,096百万円
- 営業CFについては、引続き成長に向けた投資や株主還元等に活用する方針

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前年比
営業活動による キャッシュ・フロー	5,644	4,458	3,667	<b>4,084</b>	+417
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,043	△1,430	△1,318	△ <b>2,174</b>	△856
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,692	△1,496	△2,221	△ <b>2,291</b>	△70
現金及び現金同等物に係る 換算差額	367	86	259	<b>26</b>	△233
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	2,275	1,617	387	△ <b>356</b>	△743
現金及び現金同等物の 期首残高	12,297	14,573	16,190	<b>16,493</b>	+303
その他の現金及び現金同等物 の増減額（△は減少）	-	-	△84	<b>+84</b>	+168
現金及び現金同等物の 期末残高	14,573	16,190	16,493	<b>16,221</b>	△272

# 経営指標推移

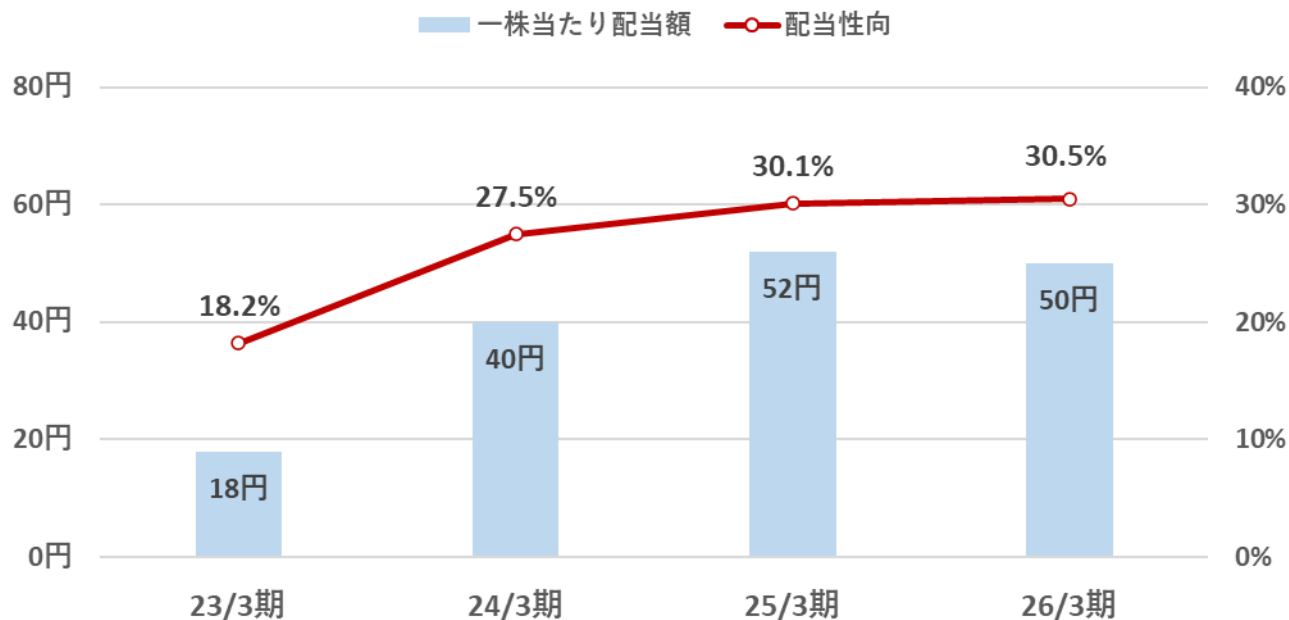
■ 減益による利益率の低下により、2026年3月期のROEは7.7%。



# 株主還元状況（配当）

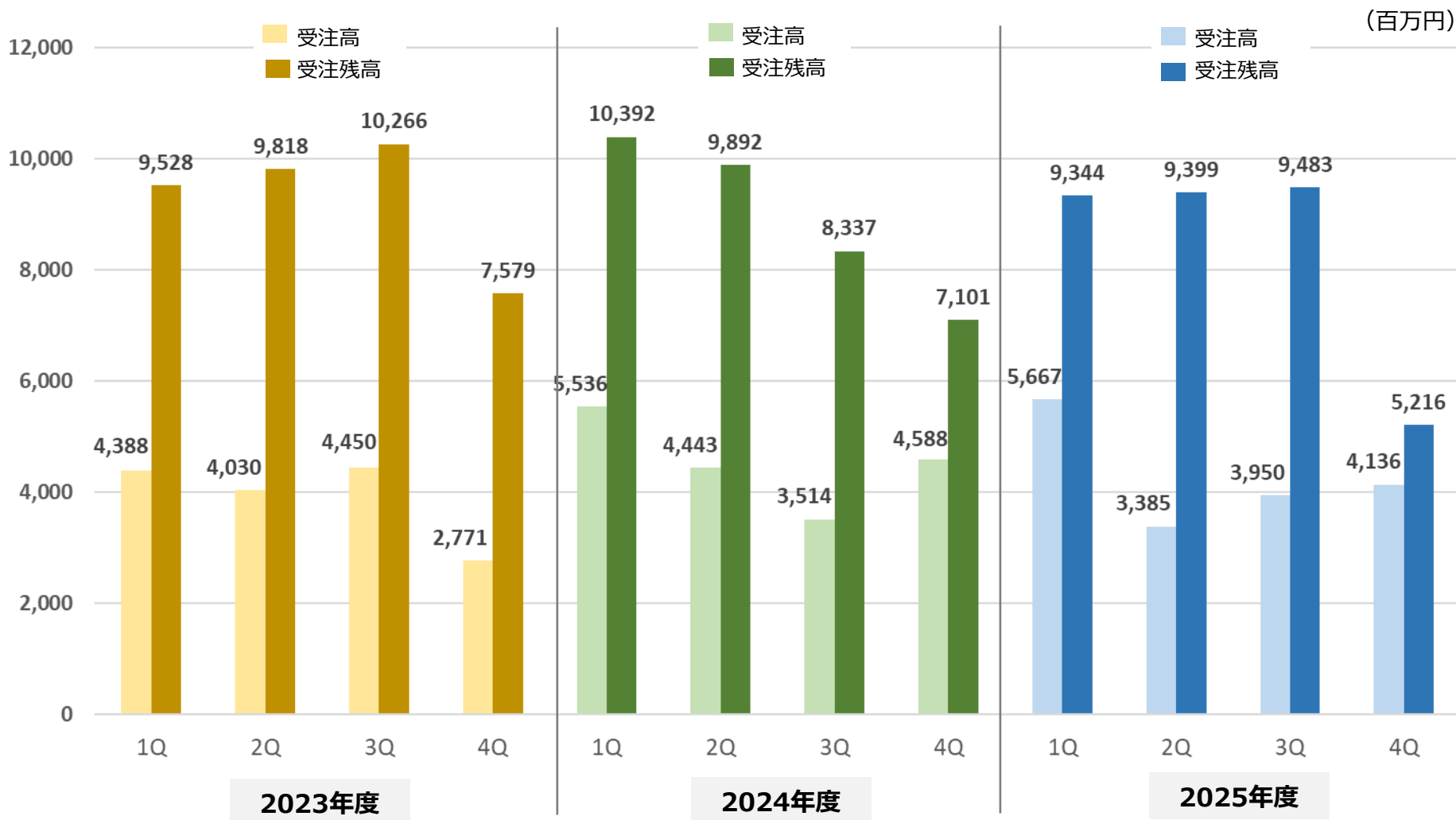
- 当社は中計経営計画で公表の通り、配当性向30%以上とすることを基本方針としながら安定的な配当を目指している。当期実績が業績予想を上回ることを勘案し、直近の配当予想から2円増配し、一株当たり50円の配当を予定。

（注）当社は2025年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。グラフでは25/3期以前から株式分割を実施していたものとして配当金の額を記載。



# 受注高・受注残高推移（機械装置セグメント）

■ 2026年3月末時点の受注残高は前年比で減少しているが、米国における減少と、国内における計上時期の期ずれが影響。一方、中国、韓国は増加。



※受注高は四半期ごとの数値、受注残高は各四半期末時点の数値

# 2025年度下半期トピックス①

## コーポレート・アイデンティティ (CI) 導入

- 従来、会社の目指す方向を社内外に示すものとして「経営理念」「基本方針」「グループ行動規範」を定めていたが、制定から年数が経過し、会社を取り巻く環境や従業員の意識は大きく変化。そのため、2025年10月1日付で新たに「グループ理念体系」「タグライン」「ステートメント」を制定した。
- また、ビジュアル面でもグループとして統一感を持たせ、企業ブランドとして業界・社会での認知度向上のため、「コーポレートロゴ」をリニューアル。

※ トップメッセージビデオ <https://www.youtube.com/watch?v=pM4WqO9I9I4>

### <グループ理念体系・タグライン・ステートメント>

KOIKE GROUP  
TAGLINE & STATEMENT

声なき声に、  
応える  
KOIKE。

一人ひとりが現場の声なき声に応え、  
現場から最も信頼される企業グループになる。  
それが、KOIKEがやりたい家。

困っている現場の声に耳を傾けることはもちろん、  
今では声になっていない声、  
会えていない人々の声を聞くために、出かけよう。  
現場の課題を解決する、新しい製商品やサービスを開発しよう。  
そして、お客様と夢を共にすることで、  
お客様自身の成長にも貢献し、社会の未来を作っていく。

社会に不可欠な製商品とサービスを途切れることなく届け、  
安心して暮らせる世界を支える。  
それがKOIKEの使命なのだから。

KOIKEグループの道しるべ、  
新しい理念体系

グループ理念として、ミッション、ビジョン、行動指針を掲げました。  
それぞれの項目で、やりたい家やKOIKEグループ社員としての心がけなどを規定するとともに、  
各要素が相互に関連し合いながらKOIKEグループの姿を定義しています。

グループ理念体系

**GROUP MISSION**  
【ミッション】  
社会に不可欠な製商品とサービスを  
途切れることなく届け、  
安心して暮らせる世界を支える。

**GROUP VISION**  
【ビジョン】  
一人ひとりが現場の声なき声に応え、  
現場から最も信頼される企業グループになる。

**GROUP WAY**  
【行動指針】  
1. 顧客の声を聞き、社会の声を聞き、仲間を聞こう。  
2. 自分が加わった価値を、その仕事に必ず加えよう。  
3. 問題は本質から考え、解決は柔軟に取り組もう。  
4. 互いの知恵も、互いの気持ちも、結びつけよう。  
5. 挑戦する人をたたえ、その挑戦に手を貸そう。  
6. 多様な文化を尊重し、多様な価値観を認め合おう。  
7. 法令と社会のルールを守り、公正で誠実な仕事をしよう。

KOIKEグループ社員に「KOIKE MIND BOOK」を配布しました！  
「KOIKE MIND BOOK」には、新しい「理念体系」に込めたいメッセージや実行に向けたヒントなどを掲載しています。  
所定も読んで理解を深め、共に理念を实践していきます！

### <新しいコーポレートロゴ>

 **KOIKE** 小池酸素工業

 **KOIKE** 小池メディカル  **KOIKE** コイケ酸商  **KOIKE** 群馬コイケ

 **KOIKE** コイケテック  **KOIKE** 菱小  **KOIKE** 小池商事

 **KOIKE** Koike Aronson Ransome  **KOIKE** Koike Europe

 **KOIKE** Koike Korea Engineering  **KOIKE** 小池酸素(唐山)

 **KOIKE** Koike Cutting & Welding India

# 2025年度下半期トピックス②

## 「2026新春KOIKEプライベートフェア」開催

- 2026年1月28日～30日の日程で千葉市にあるKOIKEテクノセンターにて開催。
- 開催テーマは「切断品質大幅向上 40kW – DBC 開先ファイバーレーザー切断機」とし、特に高速の開先切断（斜め切断）を求めるお客さま（造船や大手シェアリング業等）限定のプライベートフェアとした。
- 昨年9月開催のプライベートフェアと合わせて、のべ129社307名が来場。



## 「さらば青春の光 100億円プロジェクト」出演

- 近年、採用活動や社員のモチベーション向上等を主眼に、当社を広く知っていただくための活動を強化。その一環として2025年11月に当社が、YouTube番組「さらば青春の光 100億円プロジェクト」に出演。
- 番組ではMC「さらば青春の光」の二人が社長や社員を招いたスタジオトークや、ゲスト芸人「ひょうろく」さんによる潜入取材を通じて社風や社員の働く様子などリアルに紹介。

※ <https://www.youtube.com/watch?v=INVGSMxMPTY>



# 2027年3月期 業績予想

---

# 業績予想（連結）

- 2027年3月期は、DBCファイバーレーザや造船業向けの販売は引き続き好調を見込むも、その他セグメントの下振れ等を勘案し、おおむね横ばいを予想。
- 一株当たり配当は、50円を予想。

(百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減金額	増減率
連結売上高	55,570	<b>56,000</b>	+430	+0.8%
営業利益	4,842	<b>4,800</b>	△42	△0.9%
経常利益	5,357	<b>5,300</b>	△57	△1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,461	<b>3,400</b>	△61	△1.8%
一株当たり配当	50円 (予定)	<b>50円</b>	-	(配当性向) 31.0%

# 業績予想（セグメント別）

## <業績予想（セグメント別）>

（百万円）

	2026年3月期 実績		2027年3月期 予想		前年比	
	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1
機械装置	25,851	4,833	<b>26,700</b>	<b>4,970</b>	+849	+137
高圧ガス	19,772	1,309	<b>20,500</b>	<b>1,380</b>	+728	+71
溶接機材	8,093	315	<b>8,200</b>	<b>350</b>	+107	+35
その他	1,853	291	<b>600</b>	<b>100</b>	△1,253	△191
単純合計	55,570	6,749	<b>56,000</b>	<b>6,800</b>	+430	+51
調整額※2	—	△1,907	—	△ <b>2,000</b>	—	△93
連結	55,570	4,842	<b>56,000</b>	<b>4,800</b>	+430	△42

※1 営業利益：各セグメントの数値は調整前ベース

※2 調整額：報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）等

# 中期経営計画 NEXT STAGE 2026 進捗状況

---

# 中期経営計画 NEXT STAGE 2026 目標見直しについて

- 2025年度は機械装置セグメントが引き続き高水準を維持するも、開発費が当初計画を上回ったことや、ERPシステムの導入に伴う費用が想定以上に膨らんだこと、市場環境の停滞による高圧ガスセグメントや溶接機材セグメントの減収減益から、2025年度の業績は伸び悩んだ。
- そのため、進捗状況や市場環境を勘案し、目標の見直しを行う。

分類	指標	2023年度実績	2024年度実績 (初年度)	2025年度実績 (2年目)	当初 2026年度目標 (最終年度)	見直し後 2026年度目標 (最終年度)
成長性/収益性	連結売上高	513億円	552億円	555億円	570億円	<b>560億円</b>
	経常利益	51億円	60億円	53億円	63億円	<b>53億円</b>
	経常利益率	10.0%	11.0%	9.6%	11%	<b>9.5%</b>
効率性	ROE	8.4%	8.9%	7.7%	10%	<b>8%</b>
	ROIC※	9.5%	10.2%	8.5%	10%	<b>8%</b>
株主還元	配当性向	27.5%	30.1%	30.5%	30%以上	<b>30%以上</b>

※税引後経常利益ベース

# 施策に対して取り組んできたこと・今後取り組むこと

セグメント	中計骨子	2025年度の実績	今後の取り組み
機械装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>DBCファイバーレーザ切断機の更なる高性能化と拡販</li> <li>新たな取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省人化ニーズの高いシャーリング業界向けにDBCファイバーレーザを着実に拡販</li> <li>大手造船G向けに、従来よりも省電力化・切断速度を向上させたプラズマ切断機を着実に拡販</li> <li>主に造船業界向けに、DBC開先ファイバーレーザ（斜めに切断可能な機能）を発売</li> <li>切断現場の自動化を目指した周辺機器の研究開発に注力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャーリング業界向けにDBCファイバーレーザ拡販</li> <li>大手造船G向けに、省電力化・切断速度を向上させたプラズマ切断機を拡販</li> <li>主に造船業界向けにDBC開先ファイバーレーザを拡販</li> <li>切断現場の自動化を目指した周辺機器を含めたDBCファイバーレーザとの一体販売を開始</li> <li>メンテナンス業務の強化</li> </ul>
高圧ガス	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業用ガスにおける取り組み</li> <li>医療事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業用ガスは、価格改定を進めるとともに、販売量拡大に向けて機械とガスの一体販売推進</li> <li>関係会社との連携を強化し、公共向け案件の新規受注や配送効率化</li> <li>システム活用による配送効率化や販売先消費状況把握の精緻化</li> <li>医療事業はレンタル事業強化のため、高性能化した酸素濃縮器を発売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業用ガスは、価格改定を進めるとともに、販売量拡大に向けて機械とガスの一体販売推進</li> <li>関係会社との連携強化により、医療向けを拡大</li> <li>システム活用による配送効率化</li> <li>医療事業では在宅医療拡大の流れの中で呼吸器関連のレンタル強化と、院内感染防止器具等の新製品の開発推進</li> </ul>
溶接機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の課題解決につながる溶接関連機器を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の省人化に寄与するファイバーレーザ溶接機を拡販</li> <li>従来からの商材である溶接材料・器具の販売についてメーカー・代理店と一体となってテコ入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人手不足や脱技能化といった課題解決に資する商材としてファイバーレーザ溶接機のラインナップを拡充</li> <li>従来からの商材である溶接材料・器具の販売についてメーカー・代理店と一体となってテコ入れ</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境関連（リサイクル事業）</li> <li>新たな収益事業への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘリウム液化機の販売が好調に推移</li> <li>特殊配管（超高圧、超真空、超低温）案件の受注拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガス処理装置およびヘリウム液化機の販売推進</li> <li>特殊配管の生産能力および受注拡大</li> </ul>

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組み①

## 株主・投資者との対話の実施状況

### <当社の昨年度取組み>

- 機関投資家とのIRミーティング実施回数は2023年度以降、大幅に増加し、2025年度も精力的に取り組む。ミーティングを通じて認識した課題は取締役会で共有。
- 2024年度から開始した機関投資家向け決算説明会を継続中（説明者は社長）。

### <機関投資家とのIRミーティング回数>

### <認識した課題と対応策>

年度	回数
2021年度	5
2022年度	6
2023年度	44
2024年度	54
2025年度	72

課題	対応策
成長戦略の浸透	• わかりやすい成長戦略の説明等、IR活動の更なる充実
株式流動性の低さ	• 個人投資家の拡大 • 認知度向上
現金、政策保有株式の多さ	• 成長に向けた投資の着実な実施 • 株主還元強化（配当性向30%以上） • 政策保有株式売却は一部着手。引き続き諸状況考慮しながら検討

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組み②

## 資本計画

### 2025年度実績

2025年度  
営業活動における  
キャッシュフロー

40.8億円

#### 研究開発投資 6.2億円

- DBC開先ファイバーレーザ開発
- DBCファイバーレーザ高性能化
- プラズマ切断機高性能化
- 切断現場の自動化を目指した周辺機器等

#### 設備投資 34.5億円

- KOIKEテクノセンター建物設備更新
- 生産設備更新
- 産業用ガス関連設備更新
- 医療事業新製品用金型
- システム関連（ERP導入、PC入替等）
- 営業事業所建替え
- 有休土地活用（グループ内で利用）等

#### 株主還元 10.5億円

- 配当（配当性向30.5%）

### 2026年度計画

2026年度  
営業活動における  
キャッシュフロー

50億円～60億円

#### 研究開発投資 8～10億円

- DBC開先ファイバーレーザ開発
- DBCファイバーレーザ高性能化
- プラズマ切断機高性能化
- 切断現場の自動化を目指した周辺機器等

#### 設備投資 30～40億円

- KOIKEテクノセンター建物設備更新
- 生産設備更新
- 産業用ガス関連設備更新
- システム関連（コイケ酸商販売管理システム等）
- 工場建設（コイケテック）
- 営業事業所建替え
- 有休土地活用（グループ内で利用）等

#### 株主還元 10.5億円

- 配当（配当性向31.0%）

- 上記以外にもM&A、人的資本への投資等検討します。
- 自己株式取得については、諸状況を考慮しながら機動的に対処します。

# APPENDIX

---

# 会社概要

会社名	小池酸素工業株式会社
本社所在地	東京都墨田区太平三丁目4番8号 KOIKE Bld.7階
創業年月日	1918年10月15日
会社設立年月日	1936年12月8日
資本金	40億2847万2259円
上場区分	東証スタンダード（コード：6137）
従業員数	連結 1,085名、単体 356名（2026年3月31日現在）
代表者	小池 英夫
事業内容	ガス・溶接・切断のトータルシステムサプライヤーとして、鉄やアルミ・ステンレスなど金属材料を加工するあらゆる産業に様々な種類のガスおよび溶接・切断のための加工機械やシステムならびに関連製商品を開発・生産・販売
国内製造拠点	【機械装置】KOIKEテクノセンター（千葉市緑区）、【切断器具、医療機器】株式会社群馬コイケ、【ガス】千葉工場、白井工場、兵庫工場、その他充填会社
国内販売拠点	関東支社、京葉支社、札幌営業所、東北営業所、茨城営業所、北関東支店、名古屋支店、大阪支店、神戸営業所、中国支店、四国営業所、九州支店、長崎営業所 他
国内グループ会社	株式会社小池メディカル、コイケ酸商株式会社、株式会社群馬コイケ（以上、連結子会社）、株式会社コイケテック、株式会社菱小、小池化学株式会社、中国アセチレン株式会社 他
海外グループ会社	Koike Aronson,Inc.、Koike Europe B.V.、Koike Korea Engineering Co.,Ltd、小池酸素(唐山)有限公司（以上、連結子会社）、Koike Cutting & Welding(INDIA)PVT.LTD 他

# 会社概要

## <ミッション>

社会に不可欠な製商品とサービスを途切れることなく届け、安心して暮らせる世界を支える

## <事業セグメント>

高圧ガス

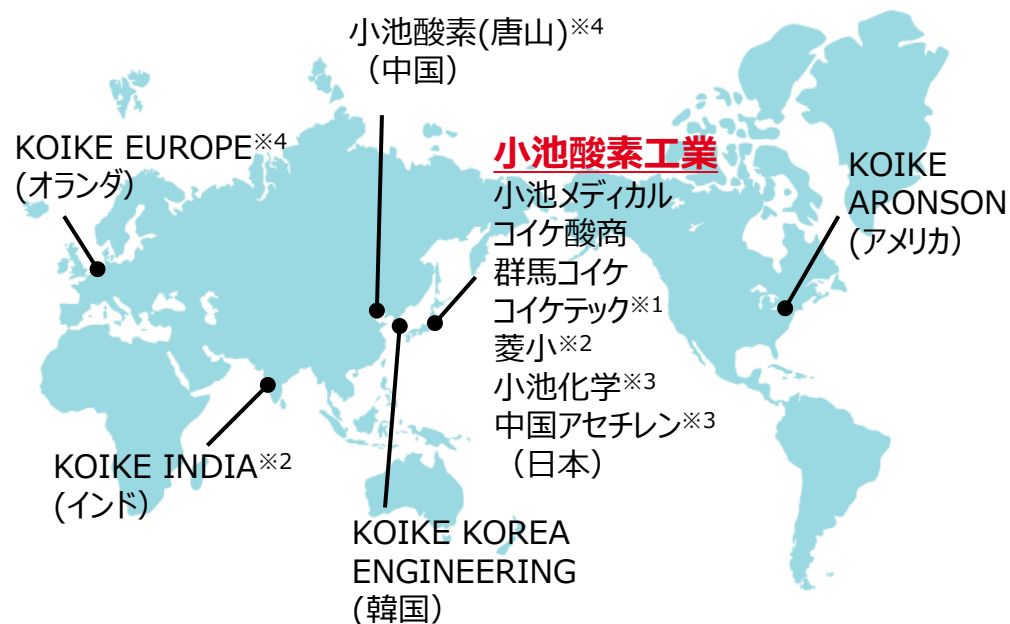
機械装置

溶接機材

その他

**小池酸素工業グループ**

## <グローバルネットワーク>



※1 持分法適用会社

※2 非連結子会社

※3 関連会社

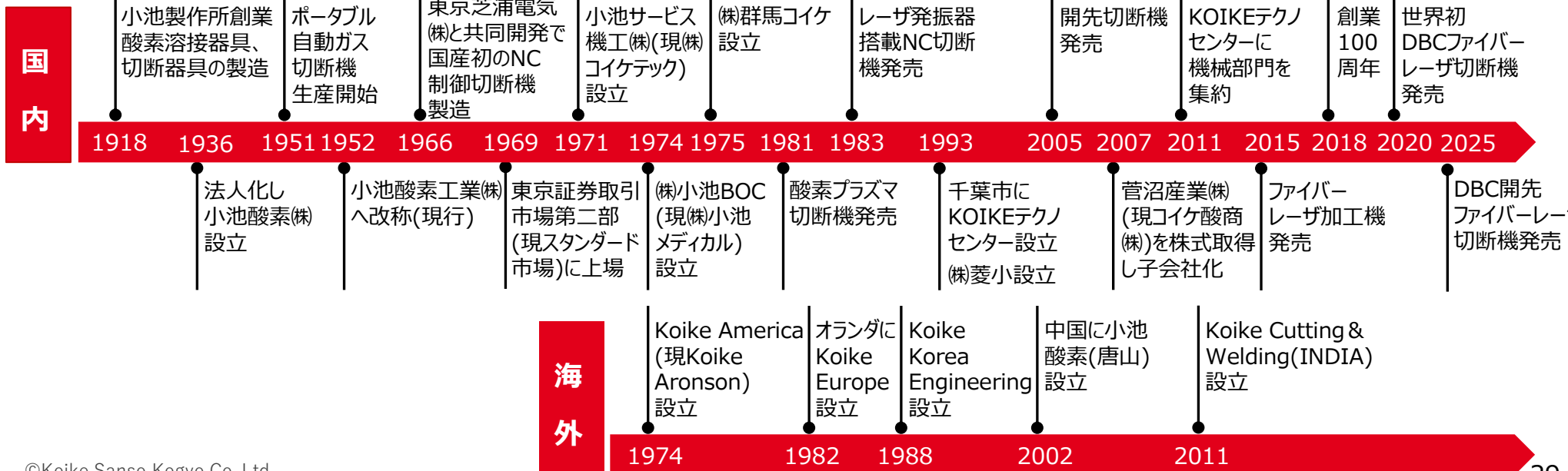
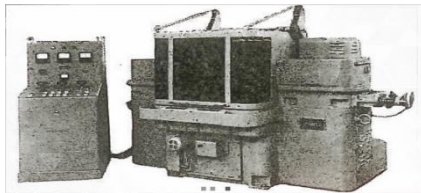
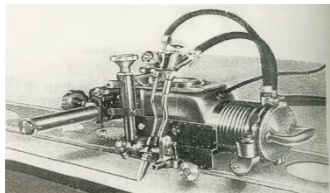
※4 別途、中国、フランス、イタリアに販売子会社あり

# KOIKEヒストリー

KOIKEは1918年(大正7年)の創業以来、ガスエネルギーを利用した工作機械のオピニオンリーダーとして、基幹産業発展の一翼を担ってきました。

時代の進歩とともに、他に先駆けて「ガス」「プラズマ」「レーザ」を利用した切断機を開発し、NCによる高度な自動システムを製品化してまいりました。また、ガス・溶接・切断のトータルシステムサプライヤーとして、お客様のあらゆるご要望にお応えできる体制を確立するに至っております。

KOIKEはさらに続く100年もこの国の、そして世界のモノづくりの礎となっていきます。



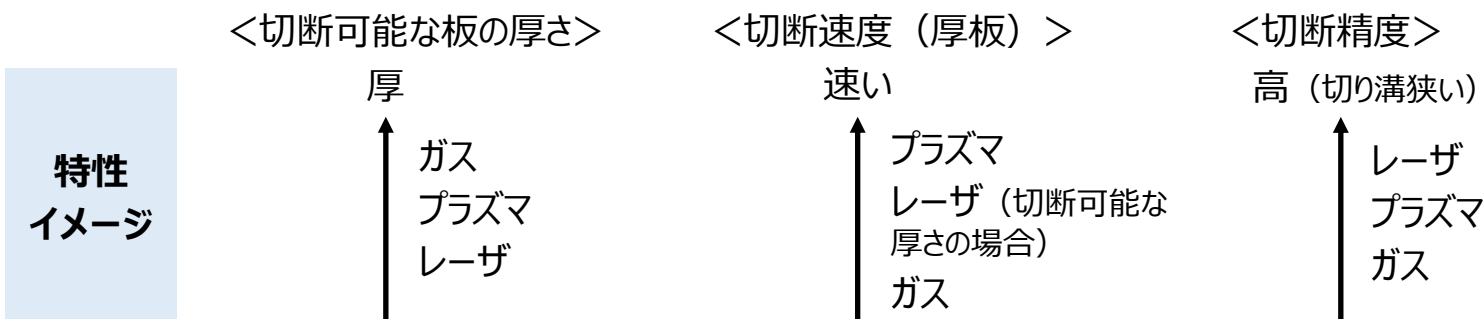
# セグメント概要

セグメント名	売上比率 (2025年度)	製品ラインナップ	概要
機械装置	46.5%	切断機、溶接治具、関連ソフトウェア等 	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚板切断を中心に、熱切断（ガス・プラズマ・レーザ）技術を活かし、半自動のポータブル切断機から大型のCNC切断機まで多くの機種を製造販売。周辺機器から関連ソフトウェアまで幅広く取り扱う。</li> <li>販売先は造船、建築資材、橋梁、建設機械向けが大半。</li> </ul>
高圧ガス	35.6%	ガス、関連機器、医療機器等 	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業用・医療用主体に高圧ガスを製造・販売。シリンダーガス（ガスボンベ）供給メーカーとして、全国に充填工場を構え、販売店、各業種の工場及び病院向けに納入。</li> <li>医療分野では呼吸器関連中心に展開し、CPAP、酸素濃縮器、酸素流量計、吸引器、パルスオキシメーター等を取り扱う。</li> </ul>
溶接機材	14.6%	溶接機、溶接ワイヤ、溶接関連資材等 	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶接関連機材・製商品の国内代表メーカーと提携し、商社として、溶接機・溶接ロボット・溶接自動化装置や溶接材料を販売。</li> <li>また、各種産業機器・保護具等、生産現場で必要な器具を幅広く販売。ガスホース接手や乾式安全器では、国内・海外のトップブランドであるアポロロックを有す。</li> </ul>
その他	3.3%	排ガス処理装置、ヘリウム回収精製装置等 	<ul style="list-style-type: none"> <li>液晶や半導体製造に使用される可燃性ガス、毒性ガス等を独自の方式で燃焼、分解させる燃焼式排ガス処理装置を製造・販売。</li> <li>大学や研究機関で使用されるヘリウム液化機や、光ファイバーや半導体等の製造工程中に利用されたヘリウムガスを効率良く回収・精製しリサイクルするヘリウム回収精製装置を製造・販売。</li> </ul>

# ガス、プラズマ、レーザーについて

- 切断材料となる金属は大きく分けて薄板（自動車等）と厚板（造船、建築資材、橋梁、建設機械等）があり、当社は厚板を中心とした切断機を取り扱う。厚板切断機は薄板用と比較するとニッチな市場。
- 切断（溶断）方法は、主にガス、プラズマ、レーザーの3種類。いずれも熱エネルギーで金属を溶かして切断することは同じだが、それぞれ特性があり、使用目的によって使い分けされる。

切断方法	概要	主な切断用途
ガス	ノズルの先端で形成された炎によって、切断部を加熱し、そこに酸素を吹きこみ、酸化反応を起こさせるとともに、溶融した切断材料を吹き飛ばして切断。	造船、建築資材、橋梁、建設機械等
プラズマ	加工する金属と電極の間においてプラズマアークを作り出し、それにより高温になった切断材料が溶融した後、エアやガスなどの気体を強い圧力で流し込み、溶融部分を吹き飛ばすことによって切断。	造船、建築資材、橋梁、建設機械等
レーザー	虫眼鏡による熱発生原理を応用した切断方法。レーザービームをノズル先端より材料に照射する際に、レンズで絞り込み、切断材料が溶融した後、各材料に最適な種類的气体をレーザービームと同軸に切断材料に吹き付けて、溶融部分を吹き飛ばすことによって切断。	建築資材、橋梁、建設機械等



# 2025年度上半期トピックス①

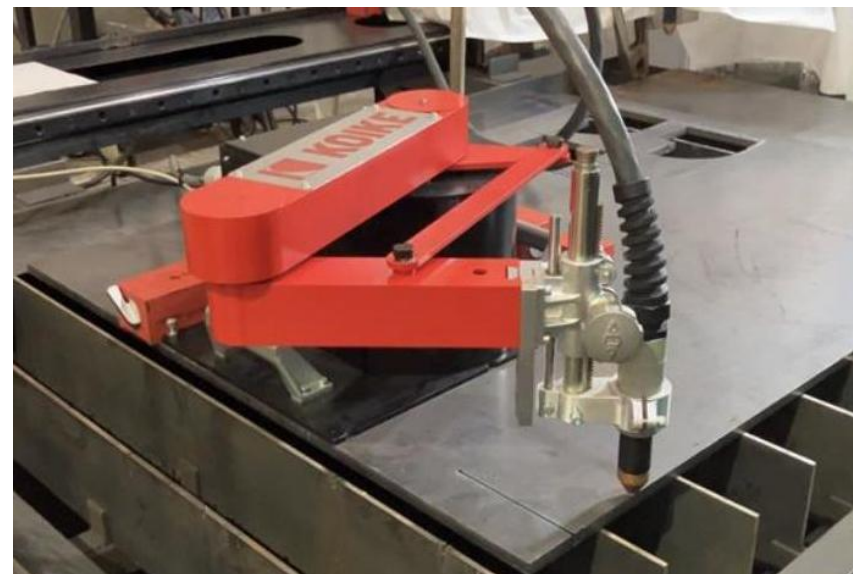
## 米国でDBCファイバーレーザー切断機 初納入

- 米国では、今後はより高品質な切断が可能で、省人化につながるファイバーレーザー切断機へのニーズが高まると想定。
- シカゴでの展示会等、かねてからDBCファイバーレーザー切断機の受注活動を行ってきたが、5月末に現地鉄鋼製品メーカーに初納入。
- 今後は海外向け販売にも注力。



## ポータブル自動切断機「DTP-25 Crab」新発売

- 当社では大規模工場で使用される大型切断機とともに、いわゆる町工場や屋外等で使用される持ち運び可能な小型切断機の開発・販売にも注力してきた。
- Crabは軽量であることに加えて、ダイレクトティーチング機能によりCAD/CAMによるデータ作成が不要（NCデータ切断にも対応）であり、切断作業の効率化に寄与。8月から受注開始し、10月から新発売。
- なお、製品名Crabは、機体形状と動作が蟹の脚に似ていることに由来。



# 2025年度上半期トピックス②

## プライベートフェア開催 / 40kW-DBC開先ファイバーレーザー切断機 新発売

- 2025年9月11日～12日の日程で、新発売となる「40kW-DBC開先ファイバーレーザー切断機」の発表会を兼ねたプライベートフェアを千葉市にあるKOIKEテクノセンターにて開催。
- 同製品は国内最大級となる40kW発振器搭載による大出力性能を活かした厚板開先切断（造船等で求められる斜め切断）と高速切断を実現。造船系ユーザーを中心に多数の新規引き合いを獲得。

<プライベートフェア>



<40kW-DBC開先ファイバーレーザー切断機 >



本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

**【お問い合わせ先】**

小池酸素工業株式会社  
経営企画室：松浦、山村  
TEL：03-3624-3111  
Email：IR@koikeox.co.jp

YouTube KOIKEチャンネル ★チャンネル登録お願いします★

<https://www.youtube.com/@koikesansokogyo2140>

